女神と飼育

ダメな子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

女神と飼育

【Nコード】

N8706X

【作者名】

ダメな子

【あらすじ】

近所の高校へと入学した超絶美人である桜川雛美は、入学式の帰りに見かけた真っ白なうさぎを追いかけていたところ、気が付けばそこは「飼育部」の農園牧場にたどり着いていた。牧場には様々な個性ある動物たちと、飼育部に所属している謎の兎マスクをかぶっている耳の聞こえない紳士がおり、そんな彼らに接触する雛美は次第に飼育部へと心を惹かれていく。

ユニークで爽やかで、ちょっと心が和やかになる、

日常飼育ラブストーリー。

桜川家の朝

今日も朝の桜川家の食卓は静寂としていた。

この家に住む桜川雛美はキッチンで二人分の朝食と、自分の分のお弁当を用意しており、茶の間のテーブル越しには、雛美の祖父が朝刊を黙読していた。

雛美の祖父は、近所で有名な頑固おじいちゃんと呼ばれる人物で、世間にも名の通った彫刻職人であった。

祖父の手掛ける彫刻作品はとても独特な荒々しさを持っており、その荒々しさからは力強い迫力と威圧感を放ち、見る者や他の芸術家の目を釘づけてしまう作品ばかりである。

そんな作品を手掛ける祖父にも頑固おじいちゃんといわれる身だけあって、その威厳さにはほかの者も頭が上がらなく、また孫娘である雛美は周囲の人達からは、育ちの良い気品あるお孫さんだと思われるていた。

雛美は、中学の頃の成績は学年トップの成績保持者で、学業面だけでなく、家事、料理、風格、礼儀作法をこなす等、品行方正、頭脳面積、そして言わず知れる八方美人であった。

靡かせた黒いロングの髪は、異性だけでなく同性も魅了するほどの爽やかな香りを放ち、ふと彼女の目と目を合わせれば、自ずと惹かれてしまうという、美しく大きな瞳を持っている彼女は、本当に高校生とは思えぬほどの大人びた女性であった。

そんな彼女は今日、家から一番近い、町の隅にある高校に入学式を迎えようとしていた。

紺色の新しいセーラー服には、紅色のラインとスカーフ、そして黒のローファーと手提げの鞆を持ち、お弁当を入れたことを確認すると、ゆっくりしている祖父に爽やかな行ってきましたを伝えて、春風に包まれている静かな街へと家を出た。

「見てみるよあの子」

「やべえ、めっちゃかわいい」

「なんかすげー品があるというか」

入学式の体育館の中は、密かに聞こえてくる男子の話題で賑わっていた。

男子の視線は彼女に釘付けにされてしまい、新入生を迎える校長先生の挨拶は男子生徒たちに流されていた。

入学式を終えると、彼女はたちまち学校中の先輩や新しいクラスメイトの男子たちの注目の的となっており、校舎から出た瞬間、男子たちから一斉に食いついてくるかのように話しかけきた。

「ねえ君の名前教えて！」

「クラスはどこ？」

「通学路はどこ？」

「これからヒマ？」

「すみません、私急いでいますので……」

少し控え間ながらも急ぎめの早歩きで周囲の男子たちをなんとか切り離れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8706x/>

女神と飼育

2011年11月17日01時10分発行